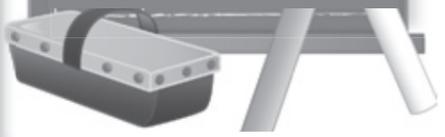


ちいきのげんきを 発信中!



第1回全国公募『丹の里ありがとう!』感謝のメッセージ』入賞作品⑬

全国から寄せられた心温まるメッセージ349点の中から入賞作品を紹介します。

「韓国からの手紙」

4月のある日、韓国から手紙が届いた。数年前ソウルで出会った若い友人から、たどたどしい日本語で『だいじしん、とてもしんばい。ふくしまさん、だいじよぶ? まけないで。かんこくでのいってると書いてある。』

(九州は無事なだけかな?)と首をひねっていたところ、ハタと気がついた。私の名字が被災地・福島と同じだからだ。キョンミ、ありがとう。その気持ち、福島県の人々に必ず届けるよ。本当にありがとう。

長崎県島原市 福島 洋子(42歳)

ちーたん日記



「5月3日(祝) 龍岡光秀まつり」
ゆるキャラ友だちの「明智かめまる」の応援に、京都府龍岡へ行ったんだ。明智かめまるの城下町にゆるキャラたちがかけつけたよ。今日のちーたんは、黄色の帽子でオシャレでしょ? 武者行列やステージショーなど、盛りだくさんの内容で千ピツ子からお年寄りまでたくさんの人たちが楽しんでたよ。初めて出かけたよ。みんなあんなに楽しそうに仲良くしゃべって、ちーたんを迎えてくれたよ。うれしかったな!



かめまるくん、久しぶり!

「5月20日(日) 神戸まつり」
今年も神戸まつりに行ってきたよ。いろんなお店やパレードがあつて、にぎやかだよわ。丹波市のブースでは試食もあつて、丹波市の特産品がとってもおいしそうだったの。でも、ガマンガマン…。今回初登場のちーたん顔出しパネルはちーたん絵本の登場人物になって記念撮影ができるんだよ。これも千ピツ子たちに大人気だったよ! PRステージでは、丹波市のおいしいものやその魅力を紹介したんだ。ちーたんが包丁をもつて、お料理もしたんだよ。丹波市のおいしい食べ物や、ゆたかな自然を多くの人たちに楽しんでもらいたいな!



みんな、丹波市に遊びに来てね☆

来月号の「ちーたん日記」もお楽しみに!

おおこうち 大河内金属株式会社 青垣工場

ディスカバー! 丹波のきらめき企業 Vol.17

市内には、世界で活躍する企業やオンリーワンのものづくり企業、日本有数の優れた加工技術を持つ企業など、私たち市民が誇れる魅力にあふれた企業や事業所がたくさんあり、多くの方がそこで誇りを持って働いています。このコーナーでは、そんな市内のきらめき企業や事業所をみなさんにご紹介していきます。

わが社のきらめく「丹波人」

「15年前、丹波市に工場ができたとき、大阪から転勤してきました。スタッフは20代から30代の若手が多く、会社のチームで地元のソフトボール大会に出場したこともあります。」



最近の指導力を入れていけるのは、製造部の久保さん(35)



大空へ飛び立つボーイングの航空機

- 【会社概要】
- 所在地 青垣町口塩久字沢田 648-1
 - 電話番号 87-4115
 - ホームページ <http://www.okouchi.co.jp>
 - 主な事業内容 アルミ、アルミ合金の材料販売、機械加工
 - 従業員数 85人

★独自の設備で技術力アップ!
「非鉄金属とは、銅や亜鉛などの、鉄以外の金属の総称です。そのなかでも当社では、アルミやアルミ合金を主に扱っており、様々な材質・サイズの在庫を保有し、切断・加工を行っています。機械設備のなかには、生産性を高めるために、発明好きの社長が自ら考案した設備をはじめ、数々の優れた設備を所有しています」と語るのは、本社の松枝さん。さらに、従業員も国家資格である機械検査一級の取得をめざすなど、日々技術の向上に注力されています。「素材商社でありながら加工も行えるメリットを生かし、あらゆるニーズに柔軟な対応が可能です」とその表情は、自身に満ち溢れています。

★丹波から世界の天空へ!!
そのような優れた技術を駆使して生み出している製品として、電車の部品や航空機の材料などがあります。そのなかには、アメリカ最大の大型旅客機メーカーである、「ボーイング」の航空機にも使用されているのだそうです! さらに、宇宙産業にも進出し、H-II(エイチ・ツー)ロケットの材料にもなっているなど、世界はもろろん、宇宙の彼方でも活躍しています。

丹波の地でつくられたモノが大空や宇宙を飛んでいるなんて、考えただけでワクワクしますね!!

「地域とともに…こちら、まちづくり指導員です!」 ～コミュニケーションによるみんなで支えあう地域づくり～

(聞き手:まちづくり指導員 荒木伸雄)

今月は、青垣支所の足立隆昌指導員を訪問しました。行政職員として長く勤められた後、今年の4月から指導員として活躍されています。

「仕事でも、地域づくりでも、まずは多くの顔なじみの関係をつくるのが大切ですね」と語る足立さん。長年の経験から、人とのつながりが職務に活かされるということを実感されています。また、「みんなで支えあい、喜びや楽しさを感じられるような地域づくりができればいいと思います。そのためには、これから地域に積極的に顔を出して、地域づくり活動に携わる関係者の人たちに、資料の提供や事業計画のアドバイスをしていきたいですね」と地域づくりのあり方などについての思いを語られました。

休日や早く帰宅した日は、欠かさずジョギングをされている足立さん。「健康でなければ、よい仕事はできません」と健康管理にも抜かりがありません。



まちづくり指導員会での足立指導員(写真右)